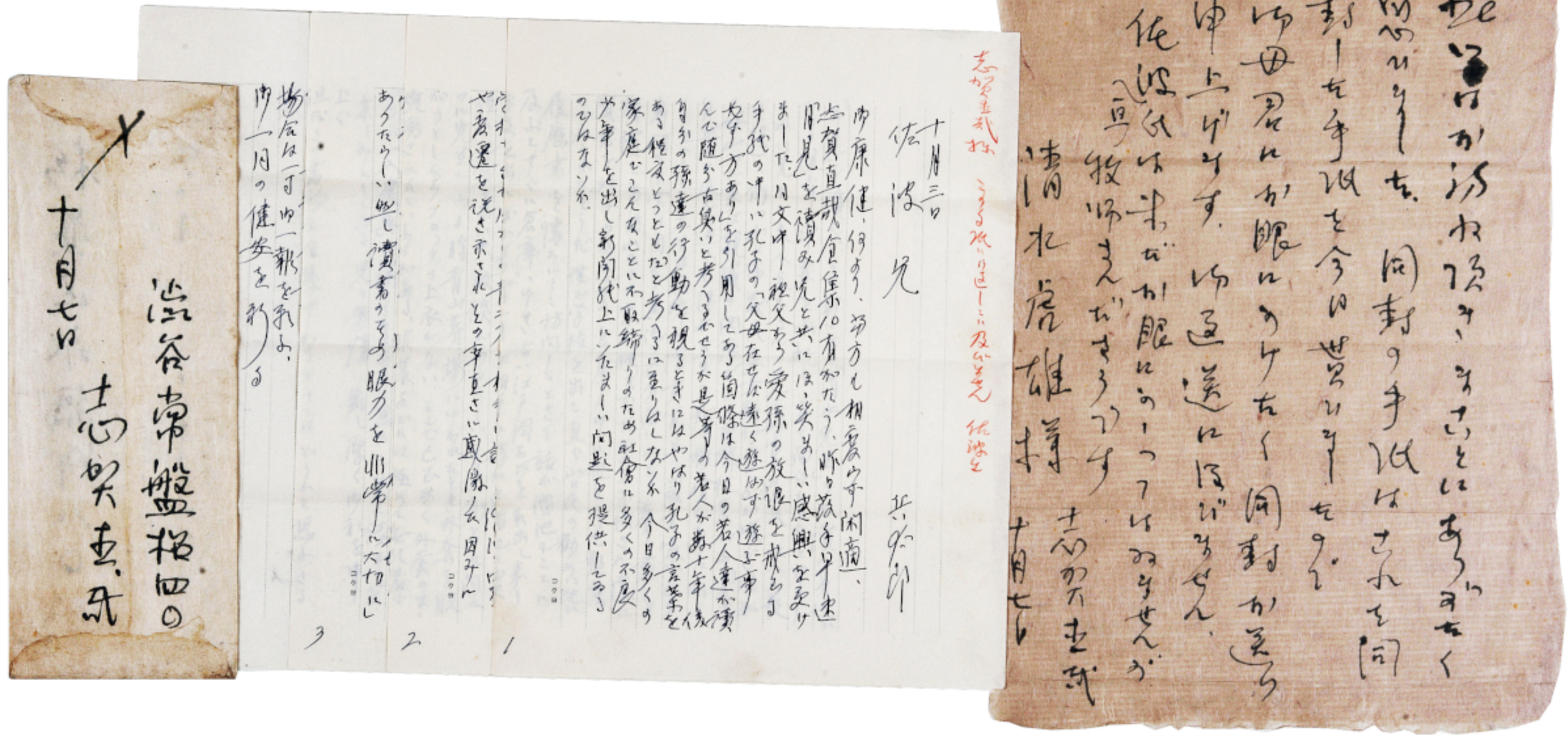

十月三日

佐藤兄

貴兄

御康健、何より、御方も相変らず閑適、
お賀直哉全集10有かたう、昨日拝読、
昨日見を積み兄と共にほゝ笑ましい感興を覚ひ
ました。月文中、祖父から愛孫の放浪を戒める
手紙の中に孔子の「父母在せば遠く遊ばず遊ぶ事
あり」を引用してある箇條は今日の若人達が読
んで随分古臭いと考へるかせうが是等の若人が数十年後
自分の孫達の行動を視るときにはやはり孔子の言葉を
あゝ程度とうとうとなと考へるに違ひない。今日多くの
家庭でこんなことに不取締りのため社会に多くの不良
少年を出し新聞紙上にたましい問題を提供してゐる
のではないか。

1

やう遠慮を説き示されたその事重さに感激云々

2

あつたらしい無し潰書のため眼力を非常に大切にし

3

物会は一寸ゆ一報を乞ふ。
御一月の健安を祈る

十月七日　志賀直哉

浜谷常盤様四の

十月七日　志賀直哉

志賀直哉様　こうる秋いりはしに及びまえ　佐藤生

如何が御取扱ひ、ずいぶんにあらずして
思ひます。同封の手紙はまた同
封した手紙を今日世話ひまして
御母君に眼にかけたく同封が送り
申上げます。御返送にはおよびません。
佐藤氏はまだ眼にのこっていらっしゃいます
牧師さんがさうつかず
清水彦雄様　志賀直哉
十月七日